

## 議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、11月11日・12日の2日にわたり、「議会運営について」および「議会改革について」の行政視察を行いました。

初日の福島県会津若松市議会では、「議会基本条例に基づき、市民との意見交換会を起点とし、そこでの意見を広報聴取委員会において調査研究し、課題を設定し、政策討論会で問題点を分析するという政策形成サイクルを構築することにより、市民の意見・要望に 대응するために、政策提言や政策立案に積極的に取り組んでいる。」という説明を受けました。

翌日の栃木県那須塩原市では、「平成24年3月に議会基本条例を制定したが、制定までに、議会活性化検討特別委員会等で、約50回もの議論を重ね、条例の内容を市民にわかりやすい表現にした。条例で実施することを明記した議会報告会については、実施要綱を制定し、昨年は市内4会場、今年度は6会場で実施している。」という説明を受けました。

両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の調査・研究を行いました。



会津若松市での視察



那須塩原市での視察

## 環境産業常任委員会行政視察

環境産業常任委員会では、10月31日・11月1日の2日にわたり行政視察を行いました。

初日は、兵庫県姫路市で、姫路市と民間企業が共同で農業の担い手への農地集積や遊休農地の拡大防止のため、太陽光発電の下で営農ができ、売電収入を草刈りなどの農地管理に充当するといった仕組みを検証している「農地への太陽光発電設備の設置による農地の利用促進に係る社会実験」について視察をしました。

翌1日には、兵庫県加古川市で、共生と循環の環境適成型社会の実現に向けた対策を推進するという基本理念のもとに、地域の快適な環境の創造や地球環境の保全に資することを目的に事業者が実施すべき対策を定めている「環境保全協定」について視察しました。

両日とも、それぞれの担当者から説明を受け、質疑を行い、先進事例の研究を行いました。



姫路市での太陽光発電設備の現地視察



加古川市での視察

## 都市建設常任委員会行政視察

都市建設常任委員会では、11月5日・6日の2日にわたり東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市および大船渡市で、「震災復興に向けたまちづくり」について行政視察を行いました。

初日には陸前高田市において、震災時の被害状況、復興計画・復興状況について視察を行いました。急激に増加した事業量に対する職員の不足、土地区画整理事業等に伴う地権者の同意の難航、現行制度における国との調整などの課題が山積している状況の説明を受けました。

翌6日の大船渡市では、津波による被災現場、今なお多くの方が居住する小学校校庭内に建設された仮設住宅、復興に向け建設された災害公営住宅の現地の状況を視察しました。また、津波が襲いかかる当時のビデオを見た後、現在の復興計画・復興状況についての説明を受けました。

両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の調査・研究を行いました。



陸前高田市での視察



大船渡市の小学校校庭内の仮設住宅の視察